

## グループリビングのアイデンティティ



慶應義塾大学総合政策学部  
教授 大江守之 氏

グループリビングをグループリビングたらしめているものは何でしょうか。昨年11月の東北でのワークショップの中で、「グループリビングとシェアハウスはどう違うのか？」という質問が出て、「グループリビングには（食事等の）サービスが不可欠だが、シェアハウスは必ず必要という訳ではない」と答えました。これまでグループリビングの本質は「居住者によるサービスの共同購入」と言ってきたことと同義なのですが、最近、グループリビングのアイデンティティの一つとして、地域の中で友人（あるいは仲間）ネットワークをつくるのが大切なのではないかと考えるようになりました。10人という小規模の暮らしは、その繋がりに生きることの基礎の多くを委ねていると、入居者の入れ替わりによって生活が不安定化する可能性が高くなります。しかし、地域の友人ネットワークの中で生きていれば、その不安定化は軽減できます。この考え方を認めるとして、果たして、友人ネットワークづくりを促進する「サービス」は共同購入の対象なのだろうか、と自問するようにもなりました。今後、議論していきたいテーマです。

# 福島・米沢ワークショップ 報告

「自由な暮らし。自分らしく、ともに住まう。」

「東北に高齢者グループリビングのある暮らしを」

社会福祉法人福島福祉会主催で福島ワークショップを開催しました。共催はNPO 法人結いのき、NPO 法人いぶりたすけ愛、NPO 法人暮らしネット・えん、NPO 法人COCO 湘南、NPO 法人てのひら、後援はグループリビング運営協議会、慶應義塾大学 SFC 研究所地域協働・ラボで行いました。

今回のワークショップはグループリビングの理解を深めることが出来たとともに、参加者にはグループリビングを知らない方も多く、グループリビングを普及させる機会となりました。

## 福島ワークショップ 11月15日(土)

### 福島県福島市 モーニング

### 『東北とグループリビング』



1日目午前中は福島福祉会の運営するグループリビングモーニングの見学を行いました。テレビで居住者がグループリビングの生活を語る番組を見た後に、居住者を囲んでグループリビングの暮らしについてお聞きしました。

午後はパルセ飯坂に移動し、昼食をとった後、ワークショップを行いました。ワークショップではまず福島福祉会施設長の清野恭子氏と慶應義塾大学総合政策学部教授で今回の実行委員長である大江守之氏の挨拶から始まりました。次にナインイアンサーで放映されたCOCO 湘南台の映像が流された後、慶應義塾大学 SFC 研究所の土井原奈津江氏が「自由な暮らし。自分らしく、ともに住まう。の仕組み」をテーマに講演を行いました。続いてグループリビングの運営者であるNPO 法人てのひらの石原智秋氏、福島福祉会の清野恭子氏がテーマに沿って、講演しました。その後、大江守之氏が司会でワークショップを行いました。ワークショップでは参加者からグループリビングに関する様々な質問が挙げられ、講師がそれに応える形で行われました。90人の参加がありました。

## モーニングについて

社会福祉法人福島福祉会は2件のグループリビングを運営している。1件目は2003年に「福島県 高齢者グループリビング支援モデル事業」の指定でモルゲンを開設している。モルゲンに待機者が出たため、2009年に財団法人JKAの補助でモーニングを開設した。

福島福祉会は1988年に「養護盲老人ホーム 緑光園」（以下、緑光園）を開設するために作られた法人である。同法人は他に「在宅ケアセンター グリーンライト」と「福島市飯坂東地域包括支援センター」を有しており、グループリビングの居住者はこれらのサービスの利用やそこで開催される多種多様なイベントに参加が可能となっている。

地域に根差した事業を行っており、地域のボランティアが多く活動し、地域に開放した住まいづくりをしている。



見学会 居住者を囲んで話を聞く



福島福祉会施設長 清野恭子氏挨拶



実行委員長 大江守之氏挨拶



講師 土井原奈津江氏



講師 石原智秋氏



講師 清野恭子氏



会場の様子



会場の様子



福島福祉会 事務長 佐藤美典氏挨拶



# 米沢ワークショップ 11月16日(日)

山形県米沢市 COCO結いのき・花沢

## 『生協活動とグループリビング』



2日目は午前中グループリビング COCO 結いのき・花沢とそれを支える施設の見学を行いました。居住者のお話しをお聞きする機会もあり、その明るい様子にグループリビングの意義を再確認することが出来ました。ランチはグループリビングに食事を提供しているワーカーズマンマが作った地域料理の芋煮など数々のお料理をおいしくいただきました。

午後は置賜総合文化センターでワークショップを開催しました。最初にNHKで放映された「おひとりさまの自分介護2」を見た後に、グループリビングの運営者であるNPO法人暮らしネット・えんの小島美里氏とNPO法人グループリビングじゅげむ館きたみの中村雅充氏、NPO法人COCO結いのきの松本由美子氏がそれぞれのグループリビングについて講演を行いました。

その後神戸女子大学家政学部教授の上野勝代氏の司会でワークショップを行いました。

85人の参加があり、生協の地域ネットワークの強さを感じました。

### COCO 結いのき・花沢について

COCO 結いのき・花沢はNPO法人結いのきによって運営されており、その根幹には「生活クラブやまがた生活協同組合」(旧・米沢生活協同組合)の取り組みがある。1980年代末より、生活クラブやまがたでは家族の介護を理由に組合の活動に参加できない組合員が目立つようになったため、1994年に民家を借り上げ、在宅福祉活動の一環で「たくろう所」を始めた。その後、生活クラブやまがたは2004年にグループホーム「結いのき」を設立。その一方で、関係者は介護保険制度のみで高齢者とその介護者の負担が軽減できない現状も目の当たりにし、サービスとサービスの隙間を埋める必要性を感じていた。

そこで、高齢者の住まいを作ろうと考えていた時にNPO法人COCO 湘南の西條節子氏の講演を聞きグループリビングという住まいに共感した。慶應義塾大学の大江守之教授からJKA補助事業の存在を知らされ、2007年にはNPO法人結いのきを設立し、2009年にCOCO結いのきを開設した。なお、2008年にはCOCO結いのきの隣に「結いのきデイサービス」を開所している。



講師 小島美里氏



講師 中村雅充氏



講師 松本由美子氏



会場の様子



WS 司会 上野勝代氏



会場の様子



会場の様子



講師 大江守之氏



NPO 法人結いのき理事長 西方常蔵氏

## グループリビング訪問記

**自由な暮らし。自分らしく、ともに住まう。**

**を作成中です。**

グループリビング運営協議会の会員が記者になって取材

今年度の取材者はNPO法人いぶりたすけ愛の川島育子さん（北海道登別）と桑折町社会福祉協議会の角田由美子さん（福島県伊達郡）です。

グループリビングに実際に2泊3日滞在して取材し、訪問記を書いていただいています。3月末に完成予定で、会員の皆様のお手元にお届けする予定です。

昨年の訪問記が好評です。追加をご希望の方は事務局 土井原までご連絡ください。

## メディア情報

- 5月15日 NPO法人暮らしネット・えんのグループリビングえんの森がNHKのETVハートネットTV「おひとりさまの自分介護2」で放映されました。
- 5月20日 NPO法人COCO湘南のCOCO湘南台が日本テレビ「ナイナイアンサー」で放映されました。
- 7月7日 NPO法人COCO湘南のCOCO湘南台がテレビ朝日「スーパーJチャンネル」で放映されました。
- 8月25日 NPO法人暮らしネット・えん代表小島美里氏が、「たけしのTVタックル」(テレビ朝日)に出演されました。
- 11月17日 福島ワークショップの記事が福島民報に掲載されました。
- 11月19日 福島ワークショップの記事が福島民友に掲載されました。
- 12月5日 NPO法人COCO湘南のCOCO湘南台が「いっぷく」(TBS系)で紹介されました。
- 1月21日 グループリビング運営協議会が「あなたの地域デビュー!“居場所と出番”のきっかけづくりガイド」(発行元 静岡発“地域支援のあり方”委員会)に掲載されました。

## ホームページが完成のお知らせ

「東北にグループリビングの暮らしを - 自由な暮らし。自分らしく、ともに住まう。」  
WAM事業(事業主体 社会福祉法人福島福祉会)のホームページが完成しました。

<http://www.group-living.org/>

3月末にワークショップの報告書や訪問記をアップする予定です。  
HPなどをお持ちでしたら、リンクしていただければ、幸いです。  
どうぞよろしくお願いいたします。

## グループリビング運営協議会 会員募集中

一緒に活動しましょう!



■グループリビング運営協議会 連絡先 土井原奈津江 NPO法人COCO湘南内  
TEL 0466-46-4976 ・ FAX 0466-42-5767 (1PM~5PM・平日)

### 編集後記

グループリビングがメディアにとりあげられることが多くなってきました。バラエティ番組で紹介されるなど、これまでにない取り上げ方もありました。このような暮らし方がこれからの高齢者に求められているのかもしれませんが、今年はグループリビング運営協議会の活動を通して、さらにグループリビングの住まい方が普及していくことを期待しています。(な)

編集委員 土井原奈津江 星野友里